

### 4-1 北九州学術・研究都市南部土地区画整理事業(独立行政法人都市再生機構施行) 北九州学術・研究都市北部土地区画整理事業(市施行)

#### ●北九州学術研究都市整備事業

本事業は、市の基本構想・基本計画である「元気発進!北九州」プランにおいて、「まちづくりの取り組みの柱」の一つである「街を支える」の中で主要施策「戦略的拠点の機能強化」に位置付けられています。

学術研究都市の整備にあたっては、周辺の自然環境や都市環境を生かしながら、先端技術に関する教育・研究機関の集積と良好な住宅地の供給を同時に行う「複合的まちづくり」を実施しました。

南部地区(第1期)事業は、独立行政法人都市再生機構が事業主体となって平成7年度に着手し、平成18年度に事業が終了。北部地区(第2期)事業は、北九州市が事業主体となり平成14年度に着手し、平成30年6月22日に事業の節目である換地処分を行いました。

#### ●北九州新大学構想

理工学系の国立・公立・私立大学や研究機関を一つのキャンパスに集積させ、ハイレベルな教育研究環境の形成と未来を担う人材の育成を目指して、施設の共同利用など相互の交流や競争によって、連携を深めながら教育研究を行う「我が国初の試み」です。

#### ●進出した大学・研究機関

学術研究都市の中心的なエリアである大学ゾーンは、平成13年4月にオープンしており、次の大学や研究機関が進出しています。

- ・北九州市立大学国際環境工学部
- ・北九州市立大学大学院国際環境工学研究科
- ・九州工業大学大学院生命体工学研究科
- ・福岡大学大学院工学研究科
- ・早稲田大学大学院情報生産システム研究科
- ・早稲田大学情報生産システム研究センター など

#### ●大学関連施設用地・研究所用地

##### 産学共同研究を可能にする最新設備や施設が充実

街に開かれたキャンパスが、「知を楽しむ生活」をつくりだす。それが学術研究都市です。また、民間企業向けの研究所用地も用意され、産学連携ベンチャーの誕生も期待されます。

#### ●沿道用地

##### さまざまな業種を受け入れられる用地を幹線道路沿いに整備

日々の暮らしや研究活動に必要なとされるサービス機能、地域コミュニティ機能などの整備が進められました。街の成長を促し、「先進モデルとなる街づくり」を支えています。

#### ●宅地

##### ゆとり、文化、自然に恵まれた住宅地を整備

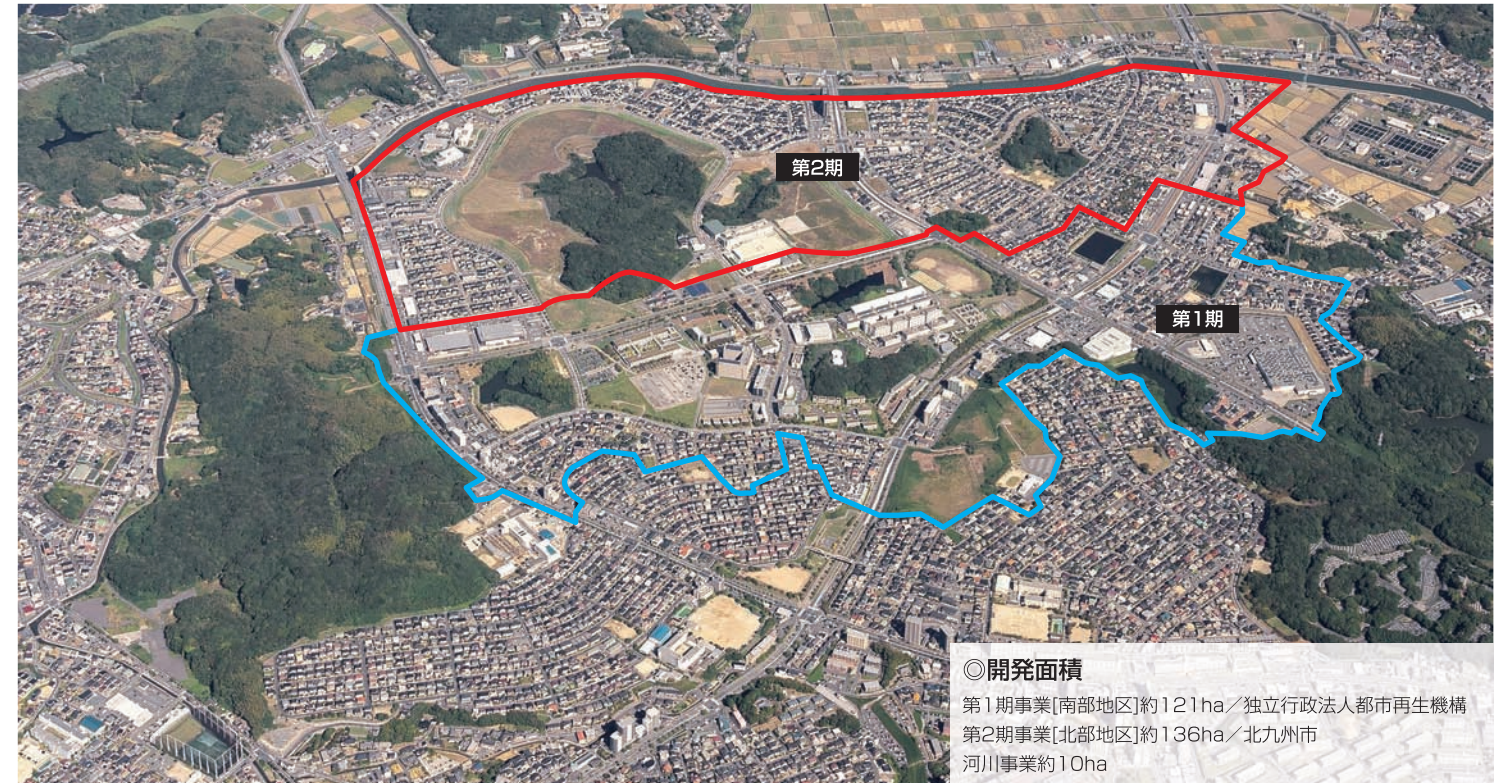
ゆとりと文化に満ちたこの街の成り立ち、そして丘陵地のゆたかな緑の環境を背景として、良好な住宅地が整備されました。



施行前



ひびきの小学校(平成29年4月開校)



◎開発面積

第1期事業[南部地区]約121ha / 独立行政法人都市再生機構  
第2期事業[北部地区]約136ha / 北九州市  
河川事業約10ha

施行済(2022.10撮影)

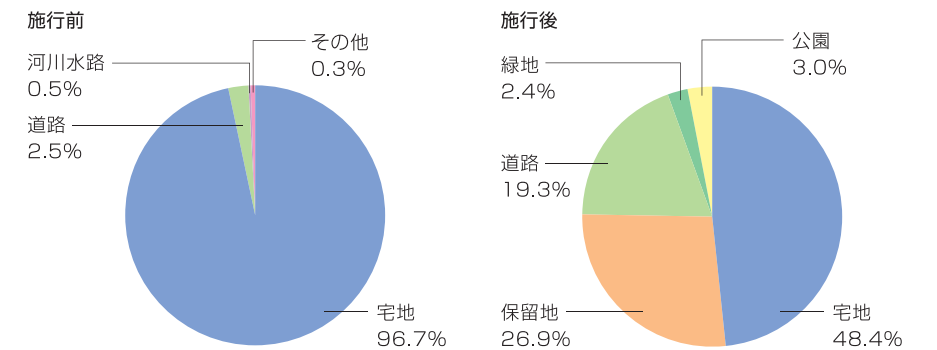
#### 南部 第1期

施行者 独立行政法人都市再生機構  
施行面積 121.4ha  
施行期間 平成7年度~平成18年度  
総事業費 28,910百万円  
減歩率 50.0%  
(公共22.2%、保留地27.8%)

#### 主な公共施設の整備

都市計画道路 9路線、延長6,171m  
区画道路 幅員6~17m、延長7,859m  
歩行者専用道路 延長895m  
公園 4か所、面積36,456m<sup>2</sup>  
緑地 面積29,879m<sup>2</sup>

#### 土地利用状況



#### 北部 第2期

施行者 北九州市  
施行面積 135.5ha  
施行期間 平成14年度~平成30年度  
総事業費 25,987百万円  
減歩率 50.0%  
(公共22.6%、保留地27.4%)

#### 主な公共施設の整備

都市計画道路 8路線、延長4,896m  
区画道路 幅員6~12m、延長21,387m  
歩行者専用道路 延長3,449m  
公園 4か所、面積46,480m<sup>2</sup>  
緑地 面積58,239m<sup>2</sup>

#### 土地利用状況

